

□主な内容

【第 7 回 EST 交通環境大賞への応募を受付中！】

今年度も EST 交通環境大賞への応募を受け付けています。全国各地で交通環境対策に取り組みられている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。
〔応募締切:9 月 30 日(水)〕

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2015.html>

【第 5 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(藤沢)の参加者募集中！】

平成 27 年 10 月 28 日(水)～30 日(金)の 3 日間、藤沢市を研修地域として実施します。皆様のご参加をお待ちします。〔参加申込締切:9 月 18 日(金)〕

<http://www.estfukyu.jp/training2015.html>

【平成 27 年度に開催するセミナーの参加者募集中！】

以下のセミナーの参加者を募集しています。皆様のご参加をお待ちします。

9/8 第 7 回地域バス交通活性化セミナー(三沢)

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/7th_seminar.html

10/26 第 29 回 EST 創発セミナー〔北海道〕(札幌)

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu39.html>

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 109 回)

●「多様な移動手段×多様な主体＝エコなまち」

【NPO 法人ゆうらん代表 松本 公洋】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 109 回)

●「豊橋市職員が取り組むエコ通勤」

【豊橋市都市計画部都市交通課 中野 匡基】

3. ニュース／トピック

●「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法の一部を改正する法律の施行期日を定める政令」及び「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令」について【国土交通省】

- 国土形成計画(全国計画)について【国土交通省】
- 二国間クレジット制度(JCM)に係るプロジェクトの登録について【環境省】
- 北海道運輸局環境対策アクションプラン(平成 27 年度版)の策定について【北海道運輸局】
- 第 7 回 EST 交通環境大賞への応募を募集中【EST 普及推進委員会】
- ワンウェイ型カーシェアリングに関する実証実験の開始について【神戸市】
- 西風新都における超小型モビリティの実証実験の実施について【広島市】
- 「のりトクプレミアム商品券」の実施について【沖縄県商工会議所連合会】
- 「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2015」開催について【一般社団法人カーフリーデージャパン】
- 「サイクルトレインしまなみ号」の運行について【JR 四国】
- 国内最大規模の EV・PHV 充電器の導入について【NEC、セブン&アイ・ホールディングス】
- 自然エネルギーを活用した EV・PHV 向け有料充電サービスについて【三菱地所、NEC】
- EV 車用の非接触充電レーンの設置について【イギリス運輸省】
- 都市におけるエネルギー使用の現状と展望を示す報告書の公表について【アメリカ国立再生可能エネルギー研究所】

4. イベント情報

- 第 7 回地域バス交通活性化セミナー(三沢)【2015/9/8】
- 第 29 回 EST 創発セミナー〔北海道〕(札幌)【2015/10/26】
- 第 5 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(藤沢)【2015/10/28-30】
- 第 7 回土木と学校教育フォーラム【2015/8/30】
- 第 23 回地球環境シンポジウム【2015/9/2-4】
- グリーン経営セミナー【2015/9/9】
- 第 15 回スルッと KANSAI バスマつり【2015/9/27】
- バスフェスタ 2015 in Tokyo【2015/10/3】
- 第 22 回 ITS 世界会議ポルドー2015【2015/10/5-9】
- LRT 都市サミット鹿児島 2015【2015/10/23-24】
- 全国路面電車サミット 2015 鹿児島大会【2015/10/24-25】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2015【2015/10/24-25】
- 第 13 回 ITS シンポジウム 2015【2015/12/3-4】
- エコプロダクツ 2015(第 17 回)【2015/12/10-12】

5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)学校支援の支援校を募集しています！

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 109 回)

●「多様な移動手段×多様な主体＝エコなまち」

【NPO 法人ゆうらん代表 松本 公洋】

当法人が拠点を置く札幌市は人口約 195 万人を有し、年間降雪量が約 5メートルにもおよぶ世界でも類まれな都市でありながら、市内には、地下鉄、路面電車(市電)、バス、JR に加え、空港もあり、多種多様な公共交通機関が運行しています。

その一方で、古くから観光幌馬車が都心部を走り、近年においては、ペロ(自転車)タクシー(運営主体:NPO 法人エコ モビリティ・サッポロ)やサイクル・シェアリング(同:NPO 法人ポロクル)が、それぞれの民間団体によって運営されているという珍しい都市でもあります。

また、札幌駅と大通を結ぶ地下歩行空間も開業から 4 年以上が経ちました。開業前は、同区間を運行する地下鉄の利用者に影響を及ぼすのではないかと懸念されていましたが、地下鉄の利用者数は地下歩行空間開業前の数年間と比べて増加傾向にあるとともに歩行者数も増えていることから、人々の回遊性が高まっていることをうかがい知ることができます。

さらに、本年 12 月までに、現在工事中の市電のループ化(西 4 丁目～すすきの間)が予定されており、運行効率の向上が見込まれています。特にこの区間は、上下線が離れてそれぞれの歩道寄りを走行するサイドリザーベーション方式が取り入れられるとともに、新たに狸小路商店街付近に停留場が設置されることから、都心部の賑わいに一役買うのではないかと考えられます。

さて、当団体においては、(一社)シーニックバイウェイ支援センターの呼びかけのもと、前述の 2 つの NPO 法人などととも、「エコモビリティの連携による都市型ツーリズム推進プロジェクト」(地域における草の根活動支援事業)に参画させていただいています。このプロジェクトでは、札幌を観光する際に、自動車に依存しない観光プランの確立を目指しており、観光時における二酸化炭素排出量削減が期待されているところです。

また、公共交通利用促進の観点から、札幌市内を運行する公共交通機関の情報を一元化した「札幌市公共交通路線図『なまら便利なバスマップ』」(※「なまら」とは、北海道などで使われる方言で「超」「とても」という意味です。)を今年も発行しており、今回は協賛広告と札幌市の助成金(さぼーとほっと基金)に加え、クラウドファンディングにより多くの方々のご寄付を頂戴することで、前回の倍となる 2 万部をターミナル等において無償頒布を行っています。

環境に優しい交通行動の推進には、多様な主体が活躍できる環境というものも欠かせない要素といえるのではないのでしょうか。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 109 回)

●「豊橋市職員が取り組むエコ通勤」

【豊橋市都市計画部都市交通課 中野 匡基】

豊橋市役所では平成 22 年 4 月より「とよはしエコ通勤運動」を実施しています。この運動は、市職員が率先して自動車やオートバイから自転車や徒歩、電車、バス、車の相乗りなど、環境にやさしい交通手段で通勤することで、地球温暖化防止への貢献、交通渋滞の緩和及び公共交通機関の活性化への寄与、職員の健康増進を図ることを目的とし、将来的には全職員の 50%が参加することにより、年間 300 トンの温室効果ガスの削減を目指すものです。

これまでの「とよはしエコ通勤運動」の取り組みとしては、各課にエコ通勤管理者を設置してエコ通勤運動の周知を図ったほか、通勤手当の見直し、職員互助会の掛金を活用した報奨・補助制度の実施などを行ってきました。その結果、本庁職員のエコ通勤率は開始前の約 39%から平成 27 年 3 月時点では約 60%まで上昇し、エコ通勤運動の取り組み実施前に比べ、約 287 トンの温室効果ガスを削減することができ、環境保全効果が図られました。さらに、平成 27 年 4 月からの自転車通勤者のエコ通勤距離区分の拡大及び手当額の引き上げにより、エコ通勤率が約 64%まで上昇し、より一層の効果が得られるものと期待できます。

こうした取り組みにより、平成 22 年 5 月には豊橋市役所がエコ通勤優良事業所として認証され、平成 26 年 12 月には市職員が率先して環境に優しい交通手段で通勤する一連の取り組みが認められ、交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰を受賞することができました。

全職員のエコ通勤率は平成 27 年 4 月時点で約 34%であったため、今後は「とよはしエコ通勤運動」の最終目標である「全職員のエコ通勤率 50%」を目指し、今まで以上の取り組みを進めていきます。また、豊橋市役所での取り組みをモデルとしながら、通勤交通による交通渋滞等の問題を抱えている地域において、市民、企業、行政が連携・協働して問題解決のための取り組みにつなげていきたいと考えています。

3. ニュース／トピック

●「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法の一部を改正する法律の施行期日を定める政令」及び「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構法の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令」について【国土交通省】

国土交通省は、持続可能な地域公共交通ネットワークの実現に向けた法制度の整備に係る閣議決定について発表しました。同法の改正は、持続可能な地域公共交通ネットワークを実現するための資金的な支援の充実及び独立行政法人改革への適切な対応を目的にしています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000084.html

●国土形成計画(全国計画)について【国土交通省】

平成 26 年 7 月に策定した「国土のグランドデザイン 2050」等を踏まえ、平成 27 年から概ね 10 年間の国土づくりの方向性を定めた国土形成計画(全国計画)の変更が 8 月 14 日に閣議決定されました。国土の基本構想として、それぞれの地域が個性を磨き、各地域が連携することによりイノベーションの創出を促す「対流促進型国土」の形成を図ることとし、この実現のための国土構造として「コンパクト＋ネットワーク」の形成を進めることとしています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku03_hh_000079.html

●二国間クレジット制度(JCM)に係るプロジェクトの登録について【環境省】

環境省は、8 月 4 日にベトナムのハノイで開催された二国間クレジット制度(JCM)に関する第 4 回日・ベトナム合同委員会において、日本の日本通運株式会社とベトナムの Nippon Express (Viet Nam) Co., Ltd が実施する「デジタルタコグラフを用いたエコドライブ」プロジェクトが登録されたと発表しました。平成 25 年に JCM を開始してから 7 番目のプロジェクトであり、ベトナムにおいては初の登録プロジェクト(第 1 号)となります。

<http://www.env.go.jp/press/101327.html>

●北海道運輸局環境対策アクションプラン(平成 27 年度版)の策定について【北海道運輸局】

北海道運輸局では、交通環境対策を体系的・具体的に取りまとめ、「平成 27 年度 交通環境対策アクションプラン」として公表しました。このアクションプランにより、地球温暖化対策、大気汚染対策、循環型社会の形成、海洋汚染対策等について計画的かつ着実に推進していきます。

http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kankyoku/action_plan/

●第7回 EST 交通環境大賞への応募を募集中【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会及びエコモ財団では、地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞を募集しています。以下のウェブページをご覧ください、全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。〔応募締切：9月30日（水）〕

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2015.html>

●ワンウェイ型カーシェアリングに関する実証実験の開始について【神戸市】

神戸市では、公共交通ネットワークの利便性向上などを図るため、公共交通を補完する乗り捨て利用が可能なワンウェイ型カーシェアリングの導入について検討を行っています。7月に公募した「ワンウェイ型カーシェアリングに関する実証実験の実施事業者」について、事業者と実験の詳細が決定し、8月22日から実証実験を開始しました。

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2015/08/20150818161301.html>

●西風新都における超小型モビリティの実証実験の実施について【広島市】

西風新都では、平成25年6月に策定した「活力創造都市ひろしま西風新都推進計画2013」に基づき、交通のスマート化を推進しています。移動の円滑化・活発化、高齢者等の外出機会の増加等を図るため、昨年度に引き続き、環境に優しく手軽な車両として注目されている超小型モビリティを活用した、新たなまちづくりの可能性を探る実証実験の実施を8月17日から開始しました。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1438767180203/index.html>

●「のりトクプレミアム商品券」の実施について【沖縄県商工会議所連合会】

沖縄県商工会議所連合会は、沖縄県の補助事業として、公共交通機関の利用促進と地域における消費を喚起し、地元消費の拡大、地域経済の活性化に資する目的とした「のりトクプレミアム商品券」を発行しました。

<http://www.nahacci.or.jp/gen/170/>

●「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2015」開催について【一般社団法人カーフリーデージャパン】

一般社団法人カーフリーデージャパンでは、毎年9/16から9/22に世界的に行われている「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー」について、今年度の申込を受付中です。現時点で全国10都市が参加を表明しています。

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan>

●「サイクルトレインしまなみ号」の運行について【JR 四国】

JR 四国では、自転車を車内へ持ち込める特別列車「サイクルトレインしまなみ号」の運行を、8月1日から開始しました。松山と今治を結ぶサイクルトレインしまなみ号は、しまなみエリアで人気が高まるサイクリング旅行のニーズに応え、利用客がより便利かつ安全に自転車の旅を楽しめるよう企画した、添乗員が同行する特別列車で、誰もが安全かつ快適に自転車に親しめる環境の充実と、自転車を核とした観光振興を図ります。

http://www.jr-shikoku.co.jp/03_news/press/15-07-24/01.htm

●国内最大規模のEV・PHV充電器の導入について【NEC、セブン&アイ・ホールディングス】

日本電気株式会社(NEC)と株式会社セブン&アイ・ホールディングスは、国内で最大規模になるEV・PHV用充電器を導入することを発表しました。セブン&アイ傘下の総合スーパー「イトーヨーカドー」、ショッピングセンター「Ario」、百貨店「そごう」「西武」の全国45店舗に計3,380台を設置し、11月から有料の充電サービスを展開します。

http://jpn.nec.com/press/201508/20150806_03.html

http://www.itoyokado.co.jp/dbps_data/_material/_localhost/pdf/2014/20150806.pdf

●自然エネルギーを活用したEV・PHV向け有料充電サービスについて【三菱地所、NEC】

三菱地所株式会社と日本電気株式会社(NEC)は、自然エネルギーを活用したEV・PHV向けの有料充電サービスを、三菱地所グループのオフィスビル、商業施設など10カ所に8月から順次開始することを発表しました。グリーン電力証書を活用し風力発電による自然エネルギーを利用することで、EV・PHV走行時だけでなく充電用電力発電の際のCO2排出量もゼロに抑え、低炭素型社会の形成に貢献します。

http://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec150729_ev.pdf

http://jpn.nec.com/press/201507/20150729_01.html

●EV車用の非接触充電レーンの設置について【イギリス運輸省】

イギリス運輸省は、主要幹線道路に、走行しながら充電が可能なEV専用レーンを設ける社会実験の計画を発表しました。試験用充電レーンは早ければ年内にも着工するとしており、試験期間は18ヶ月を予定しています。

<https://www.gov.uk/government/news/off-road-trials-for-electric-highways-technology>

●都市におけるエネルギー使用の現状と展望を示す報告書の公表について【アメリカ国立再生可能エネルギー研究所】

アメリカエネルギー省のアメリカ国立再生可能エネルギー研究所(NREL)は、全国の20都市を対象に、アメリカの都市におけるエネルギー使用削減の取組の現状を分析した結果および、都市が今後取り組むべき推奨事項を示す報告書を公表しました。都市間で共通す

る取組として、炭素排出の削減、エネルギーの効率化、再生可能エネルギーの増加、自転車や徒歩による移動の促進等の目標設定が挙げられています。

<http://www.nrel.gov/news/press/2015/19534>

4. イベント情報

● 第 7 回地域バス交通活性化セミナー(三沢)

日時: 2015 年 9 月 8 日(火) 13:30~16:50

場所: 三沢市公会堂 3 階 第 8、9 集会室

主催: エコモ財団、東北運輸局、特定非営利活動法人まちもびデザイン

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/7th_seminar.html

● 第 29 回 EST 創発セミナー〔北海道〕(札幌)

日時: 2015 年 10 月 26 日(月)

場所: アスティ 45 ACU12 階 中研修室 1206

主催: 北海道運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu39.html>

● 第 5 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(藤沢)

日時: 2015 年 10 月 28 日(水)~30 日(金)

場所: 藤沢商工会館ミナパーク 多目的ホール①ほか

主催: EST 普及推進委員会、エコモ財団、関東運輸局

<http://www.estfukyu.jp/training2015.html>

● 第 7 回土木と学校教育フォーラム

日時: 2015 年 8 月 30 日(日) 9:00~17:00

場所: 土木学会(講堂、会議室)

主催: 土木学会

<http://committees.jsce.or.jp/education04/node/33>

● 第 23 回地球環境シンポジウム

日時: 2015 年 9 月 2 日(水)~4 日(金)

場所: 北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟

主催: 土木学会

<http://committees.jsce.or.jp/global/sympoC>

●第 15 回スルッと KANSAI バスマつり

日時:2015 年 9 月 27 日(日)10:00~16:00

場所:花博記念公園鶴見緑地(大阪市鶴見区)

主催:スルッと KANSAI 協議会

<http://www.surutto.com/>

●バスフェスタ 2015 in Tokyo

日時:2015 年 10 月 3 日(土)

場所:都立代々木公園・ケヤキ並木

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://www.bus.or.jp/event/>

●第 22 回 ITS 世界会議ボルドー2015

日時:2015 年 10 月 5 日(月)~9 日(金)

場所:Congre et Expositions de Bordeaux

主催:TOPOS

<http://itsworldcongress.com/>

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/bordeaux_2015/

●LRT 都市サミット鹿児島 2015

日時:2015 年 10 月 23 日(金)~24 日(土)

場所:市内ホテル、新交通局舎など

主催:鹿児島市

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikakuzaisei/kikaku/kotuseisaku/event/lrtsummit2015.html>

●全国路面電車サミット 2015 鹿児島大会

日時:2015 年 10 月 24 日(土)~10 月 25 日(日)

場所:東急 REI ホテル、ホテルタイセイアネックス、天文館ビジョンホール

主催:全国路面電車サミット 2015 鹿児島大会実行委員会

<http://ameblo.jp/suzkikazuo1969/entry-12055289122.html>

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2015

日時:2015 年 10 月 24 日(土)、25 日(日)

場所:東洋大学白山キャンパス 1 号館ほか

主催:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

●第 13 回 ITS シンポジウム 2015

日時:2015 年 12 月 3 日(木)、4 日(金)

場所:首都大学東京

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、首都大学東京

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium13/

●エコプロダクツ 2015(第 17 回)

日時:(1 日目)2015 年 12 月 10 日(木)10:00~18:00

(2 日目)2015 年 12 月 11 日(金)10:00~18:00

(3 日目)2015 年 12 月 12 日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2015/>

5. その他

●EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！

2013 年 7 月 16 日から募集を開始し、38 団体が参加しています。

会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。

http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

●EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

<https://twitter.com/officeEST>

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)学校支援の支援校を募集しています！

http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp/>

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

●交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail:magazine@ecomor.jp(担当:熊井)

=====

発行：環境的に持続可能な交通（EST）普及推進委員会事務局

（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト：<http://www.estfukyu.jp/>